

ラグビーテストマッチについて(6月24日開催)

1 概要

【ラグビーテストマッチ】

- 対戦カード：日本代表対アイルランド代表
- 日時：平成29年6月24日(土) 14時40分キックオフ
- 場所：東京スタジアム
- 主催：公益財団法人日本ラグビーフットボール協会
- 入場者数：29,354人
- 【参考】6月17日(土) 静岡 27,381人、6月10日(土) 熊本 18,585人

【東京ラグビーファンゾーン2017】

- 日時：平成29年6月24日(土) 11時～18時
- 場所：西競技場
- 主催：東京都・公益財団法人東京都スポーツ文化事業団
- 入場者数：約21,000人

2 今年度の都の取組と今後の対応

- 都は、テストマッチをラグビーワールドカップ2019に向けた準備の一環と位置づけ、取組を検証
- 昨年度のテストマッチの課題として、シャトルバスの確保、スタジアムへのスムーズな動線の設定、ボランティアの拡充、イベントコンテンツの充実等があり、これらを受けて今年度、以下の取組を実施

【都の主な取組】

【交通アクセス・会場動線】

- ・シャトルバスの往復運行・系統の多様化
- ・HPや印刷物等による複数来場ルート周知
- ・会場動線を考慮したイベント(ファンゾーン)会場の選定やVIP駐車場の設置
- ・イベント会場周辺のサイン表示の工夫や入退場口を複数設置するなど円滑な動線を確保

【ボランティア】

- ・経験豊富な多様な主体との連携の下、人数拡充(140名)
- ・対象業務の拡大(駅・会場周辺での案内誘導、語学対応等)

【イベント運営】

- ・競技体験等の参加型コンテンツ充実
- ・地元市・開催都市等によるブース出展及びステージ出演
- ・アイルランド音楽等、試合後も楽しめるプログラムの工夫

【気運盛り上げ・観戦促進】

- ・SNS等を活用した広報活動、交通機関における周知の強化

【今後の対応】

【交通アクセス・会場動線】

- ・シャトルバス利用のさらなる促進(運行時間の拡大等)
- ・来場ルートの周知と案内の強化(乗換駅における案内等)
- ・試合後のイベント会場への的確な誘導や効果的なサインの充実

【ボランティア】

- ・事前研修・情報提供の充実
- ・役割や配置、活動内容の工夫

【イベント運営】

- ・飲食ブースの拡充
- ・試合会場とイベント会場の連携強化(イベントスケジュールの調整等)

【気運盛り上げ・観戦促進】

- ・試合及びイベントの情報発信のさらなる強化
- ・大会認知度向上やラグビー普及に向けた地元自治体等との連携推進

- 今回の取組を検証し、2019年大会に向けた交通輸送のあり方やファンゾーンの運営等に反映